

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
【教育・子育て】	1	学校内への防犯カメラの設置について	共通	私は教育・子どもたちのことでお願いがあります。2件ありまして、いじめのこともそうなんですけど小中学校に防犯カメラの設置をお願いしたいということなんです。印西市は経済的に余裕がありますので、検討していただけないかというお願いでございます。すぐにはなかなか設置は難しいと思いますが、これから将来を担う子どもたちのためにもぜひ実現していただきたいと思っております。校門とは思ったんですが、現状では校門は鉄柵みたいな感じでこう引き戸みたいな感じでこうなってるんです。そこには鍵はかかってないので例えば保護者がペットボトルとか空き缶とか持ってきたりする。そこもあるんですけど、それはこう開いて自由に出入りできるという現状ですかね。ただ、いじめとかそういうような問題になってくると各教室はなかなか難しいと思うんですが、教室に防犯カメラが設置されていない場合は、例えばオープンスペースでの設置とかをしていただけないかと思っております。結局保護者としては、学校に子どもたちを入れてしまうと見えないわけですね、何にも。隠されてもわからないというのがありますし、それがそのカメラの設置によって公になるのでもいいんじゃないかと思っております。	防犯上非常に重要なので市の状況を確認したいと思っております。校舎内については非常に子どもたちのプライバシーの話も出てきてしまっているので教育委員会に確認させていただきます。校門については、一時よりもだいぶそこに対するリスク感度が高まり、昔いんな事件がある中で一回強化された中で果たしてこれが充分なのかという問題意識を持っているところでもありましてそこは確認をします。	印西市立小学校及び中学校防犯カメラの設置及び管理運用要綱の規定に基づき、学校の安全管理運営及び犯罪の抑止を目的として設置しています。主に校門など学校敷地への出入りがある部分を撮影し記録しているもので、校内については、プライバシー等の観点から設置は予定しておりません。	教育総務課
【教育・子育て】	2	中学校への制服での通学について	共通	孫がですね。来年中生になります。それで制服の問題なんですけれども、印西市は制服、もちろんユニフォームを統一されていません、各中学校で。それで今年はんかはずごく猛暑ということもあって、例えば印西中や原山中ですとですね。女子なんかは未だにブロード地のブラウスにベストという状態なんです。先生はジャージで授業をされていらっしゃると思うんですが、いまだブロード地のベストで通学っていうのも大変かなと。ジャージでの通学っていうのも許されているらしいんですが、最近知ったんですが、西の原中学校がジャージでの通学が、今年か去年かに行われたということなんです。だからそういった点も踏まえて統一化っていうんですかね。	制服の話は大きくいうと時代の変化への対応と捉えています。こちらについては、確認をさせていただきます。	現状としましては、期間の長短はあるものの、夏の暑い時期にクールビズとして、全9中学校中8校が、制服の他にジャージ等の暑さに配慮した服装での登下校を認めており、印西中と原山中についても、ジャージ等での登下校を認めています。あわせて、夏の暑さの他に、雨天時はジャージでの登下校を認めています。	指導課
【教育・子育て】	3	学校の体育館への空調設備の設置について	共通	—	今の体育館には空調がついていないんですね。小中学校なので皆さん夏の行事を全部教室でリモートでやってみない小学校や中学校が増えているんですよ。とでもじゃないけどできないっていうのでまさに同じような話なんだろうと思うんですね。そこについてはある程度リーダーが腹を決めなければ変わらないところもあると思いますので、しっかりと。教育行政については教育長という責任者もいます。教育長とも、今毎週議論してますのでフィードバックさせていただきます。	—	教育総務課
【教育・子育て】	4	教職員の業務負担軽減について	共通	高校の教員をされているんですけど、今教員の低倍率が激しくて部活動とかの負担が非常に高いです。僕高校の教員ですけど部活終わりです先月とかもう3日しか休みなくて月残業80時間ぐらいです。早めに低倍率化が教員の負担を減らすような政策をこうしていただきたいなとか、この市にいうところか、県とか国にいうところかちょっとわからないんですけど、ちょっとそれをお願いしたい。	高校の教員不足、私たち市が直接的に関与できるのは小中学校までというのがあります。ただその観点で申し上げると働きやすい環境をやっばり作らなきゃいけないという思いは強く思っています。高校についても、熊谷知事や県に伝えてまいります。	—	学務課
【教育・子育て】	5	コミュニティスクールについて	共通	私は個人的には子供と地域を結ぶということをしたなと思っております。それはまだまだ漠然としているのでこういう機会に皆さんの話を聞きながら、市長の話を聞きながら形にできればいいなというふうに思っている次第です。ありがとうございます。	コミュニティスクールという言い方をしますけれども、地域で子どもたちを育てるっていうことをやりたいと考えています。昔は当たり前に行っていたんですけど、安全性の観点から地域との距離が遠くなっているのをどうにかしなければならぬと思います。子どもたちが朝自宅から学校に行き、学童に行き、習い事やイベントに行き、近頃の公園で遊んで、週末はまた習い事やイベントに行き、みたいな習慣があると思うんですけど、これってこのニュータウンでもできちゃうことですね。これでは地域が育っていかないと思っています。せっかくこの印西を選んだくださったわけなので、印西を好きになってくれるようまちを作っていきたい。その一つとして、地域に開かれた学校をつくっていききたいという思いは思っています。県内では、千葉市などが実施していますので、参考にして印西市でも印西でもやっていきたいと思います。	—	子育て支援課 保育課
【医療・介護・健康・福祉】	6	健康づくりセンターの改修期間の利用について	印旛	私はこの支所の2階の健康づくりセンターに週2回ぐらい通っています。非常に印西市は高齢者のそういう健康づくりに対しては、基本的に近隣の市町村が非常に理解があり、非常に充実していると思っております。この建物が老朽化してということで、一応建て替えとか、館内を全部入れ替える必要はないかというところで、来年度の春以降で、2年ぐらい閉鎖しますっていう連絡が来た時ですね。だいたいここに通っている方が述べ1週間で250から200名ぐらいいるんですけど、かなり多くの方からですね、やはり我々その高齢者が2年間も便利に利用させてもらっているものが閉鎖ということになると、非常に健康に悪い影響を与えること、なんか閉鎖しないで、何か継続することができないかということ、私の先輩方とかもなんとか頼めないかという話がいっぱいきておりました。市の担当者からは松山下公園に行ってもらえませんか、みたいな話もありました。ここに通っておられる方は、かなりのご高齢の方も多くてですね、歩いて来たり、自転車でも来たりですね、そういう方が結構多いですね。松山下公園は確かに充実してるんですけど、ちょっと遠いなというような声があります。先日実は市民提案書というものも出させていたしまして、大体50名ぐらいの方の署名をいただいて提出しております、市の方と打ち合わせ等をしてんですけど、ぜひなんとか前向きに検討していただきたい。	健康づくりセンターについては、多くの声をいただいておられます。さらに今私も地元の人間でもありますので、そういう意味でも地域から大きな声をいただいております。市としてはかなりいろいろ検討しました。これかなり関係部までいって検討した上で、現実的には印旛公民館の空いているお部屋で置く器具を置いて、ご利用いただくことが、現時点でできることかなと思っております。それでもご不便をおかけしてしまうところは申し訳ないと思っております。	—	健康増進課 スポーツ振興課
【医療・介護・健康・福祉】	7	妊活について	共通	今年結婚したばかりでこれから子どもというふう考えているんですけど、女性とか男性の妊活について市の方でいろいろ情報を頂ければと思います。男性の妊活について、その妻が多量性閉経症候群というPCOSというやつなんですけど、なかなかその妊婦が多分できないという状態なんですけど、それが原因なのか、僕が不妊なのかということがどういうふうな情報提供されるかというのが、病院というクリニックでしかちょっとわからないんですけど、そういう情報のアドバイスを、こう20代や30代の方に詳しく提供していただけたらありがたいなという、その僕も男性で、その女性だけにいろいろ負担をかけるのは申し訳ないなという、男性の方も妊活についてのいろいろな情報もらえるようなことができればなという、ちょっとうまく言えないんですけど。	妊活に限らず、発信力が低いということは課題とにんじきしています。情報発信って一般には2つやり方があるとされていて、一つは皆さんに探していただく、もう一つは私たちが直接お届けをするというところ。一番わかるのは広報紙を、皆さんの家にお届けをするっていうのがまさにその後の例なんですけれども、特に行政はお届けをするっていうのは別印旛で手ですね。それは別に印旛市だけじゃないですけれども。最近LINEなどいろいろなツールもあります。若い方々や現役世代の方々にも、しっかりとお届けできるような方法で発信していきたいと考えています。	現在、関連事業といたしましては、印西市では「不育症治療費等助成事業」がございます。この他に以前は「特定不妊治療費助成事業」というものもございましたが、不妊治療費の一部の先進治療を除き保険適用になりましたので、事業を終了しております。県では「不育症検査費用助成制度」がございます。ご案内につきましてはホームページへの掲載及び、年に一度の広報誌掲載で行っております。課題となっております周知方法といたしましては、若年層が折り込みチラシで広報が届けられないことがございますので、市公式、市公式LINE、こまんなInstagram（子ども家庭課）でのSNSでの発信もいたします。一方で、市公式SNSの利用者についても限定されたいこと、情報発信方法についてはさらに検討してまいりたいと思っております。また、近年「プレコンセプションケア（性と健康の相談）」という考え方が広まりつつあり、将来の妊婦・出産やライフデザインに関心がある男女へ相談支援を行う事業が県・指定都市・中核市でモデル実施中です。印西市においても需要のある事業になると思っていますので、モデル実施の状況を注視し、検討してまいります。	子ども家庭課
【産業】	8	魅力あるまちづくり（印旛沼の活用）について	印旛	魅力ある街づくりを心がけてぜひ発信をして、対外的に発信をしていただきたい。これは多分今の市の政の中ではなかなかできなかった。市長のような方で初めて今までのそのキャリアを十分に活かされてですね、対外的にその発信力が発揮できるのではないかと。具体的に申し上げると、1つは印旛沼ですね。これを活用する何かアイデアをですね。ぜひ人と物とか金を集めて開発利用できるようにできないかというのが1点です。	この印旛沼の活用、魅力的な街づくりは文化とかの話にも繋がって来ると思っています。印旛は次の段階に進む時に来ているんだらうなと思っております。それがまさに魅力的な街、その場に行くだけでなんとなくワクワクするようないいなと思ってもらえるようなまちにしたいと考えています。今成田空港から日本に来られた方々が最初に目にする風景は印旛であり、印旛沼だということです。この資源を活かさない手はないと思っております。なかなかこういう賑わい作りとか魅力づくりというのは行政は下手なので、そこはしっかりと民間のそういう知見を持っている方々と一緒にやっていこうということで今動き始めてはいます。時間がかかることですので、4年、8年、10年のスパンの中で、魅力ある印西市をしっかりと印旛沼の活用も含めて作っていききたいとこのように考えています。	—	企画政策課
【産業・観光・農業】	9	魅力あるまちづくりについて	共通	魅力あるまちづくりとしては、今印西市で非常に全国的にというワールドワイドで注目されているのは、やはりデータセンターだと思っておりますが、情報処理に係る産業なり企画を具現化し、それを発信していただいて、印西はその情報処理に係るその町だというようなことが、全国あるいは世界に認知されるような方向に持って行っていただければ大変ありがたいと思っております。それが多分街の元気づくりにも確実に結びつくと思っております。	データセンターは固定資産税をたくさん落としてくれるありがたい存在ではありますが、雇用を生まないんです。結果として、ニュータウンにお住まいの多くの方々は成田空港方面か、東京にお勤めになられているんですね。往復2時間プライベートな時間ないし、地域に時間を使っていることが非常に難しいんだと思います。職住近接、住んでいる場所と働く場所をなるべく近づけることが、この印西市の次の時代においてはすごく大事だと思っております。その中でデータセンターに付随して、情報処理産業を呼べるかというところはまだ私わからないところが大きいですが、トップセールスで今東京にお勤めの方々が働けるような企業群・産業を誘致して行こうというのを考えています。これには、10年のくらのスパンで時間軸を考えています。	—	経済振興課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
【産業・観光・農業】	10	営農継続給付金について	共通	専業農家をやっています。3点ほどお願いがあり今回きました。野菜の値段が非常に安くて、ある方に聞くと30年くらい変わっていないというの聞いております。最近はお米の値段はだいぶ上がっていますが、野菜の値段が変わっていない。なかなか売っても利益にならないという状況。さらにまた最近異常気象でもそもそも野菜がなかなか作りづらいという状況で利益がほぼ出てなくてなかなか農業を続けられない状況になっているので、本来野菜の値段が上がってくればいいんですけど、なかなか上がらない状況なのでできればなんとか給付金支給とかいう形で少しでも助けていただくと嬉しいなあということが1点目。	「農業」は非常に重要なテーマと捉えています。市では 営農されている方々に向けた給付金を出させていきました。その取り組みを来年度も継続するかは検討中でございます。なるべく印西市としてできることはやっていきたいと考えています。しかしながら、単に補助金を出しするということを超えて、本質的には、しっかりとまとまった農地で経営ノウハウを持つての方を中心として農業をやっていくと、より農業そのものをちゃんと盛り立てていくような取り組みをしていかなきゃいけないと思っています。この課題についてはかなり難しい話もありますので持続可能な農業については、引き続き皆さんと議論をしながら目指していきたいと思っています。	—	農政課
【産業・観光・農業】	11	援農ボランティアについて	共通	2点目が、やはり地農業やっていて人に頼まないとうしてもできないことがたくさんあるんですけども、人件費の最低賃金がどんどん上がります。人にお頼みできない利益がないので、下にお頼みしたくても人件費が払えないとお頼みできないのがずっと続いています。できたら我孫子市でもあるんですけども、援農ボランティアという活動が我孫子市の方でやっています。地域の方々が農家さんのところにボランティアに来ていただくという活動があるんですけど、それをぜひ同じようにしてほしい。活動をぜひ言いたいし、活動ができるような形に支援とかをしてほしいなあ、あくまでも市役所でやってほしいというのが多分難しいと思うので、どこか団体に立ち上げてもらってそれを支援するというような形で、我孫子市のような形でやってほしい。	援農ボランティアについては私も研究中です。こういう制度を導入していくことで、少しでも農家の方々の負担を軽減できるように努力していきたいと思っています。	—	農政課
【産業・観光・農業】	12	ジビエについて	共通	私は狩猟をやっているんですけども、やはりイノシシを毎年数千頭ぐらい取っていると聞いているんですけども、だいたいそれを焼却場で燃やしているというのが実情です。結局その解体をするという所がないので、結局そうなるという一時的な解決策は聞いてはいるんですけど。やはりジビエをなんとか導入するなどして、少しでもジビエという形で活用、せっかく捕獲したイノシシを活用する命を大事にするということもあるので、何とかジビエを導入するとかをして、何とかできないかな。その活動がジビエを取った後に保管するというような場所も思っております。よろしくお願います。	ジビエについては、産業として根付かせてしまっているのかという辺りは、私もまだ勉強中ですので、引き続き議論させていただきます。	—	環境保全課
【インフラ・防災】	13	広域避難場所について	共通	広域避難所の件です。今の印西市で指定されているのはホームページによると北総線の丘公園と、それから松山下公園と、それから千葉ニュータウンにある元の東京電機大学の跡地この3カ所なんです。今の千葉ニュータウン中央駅の周りを見ますとね、結構人間がこうマンションがどんどんできてきて、だいたい印西市の半分ぐらいいるんじゃないかっていう情報がネット上ではあります。それで私はちょっと危惧しているのは、この防災に絡んで、辺でも大きな地震とか一応地盤が固いと言われてはいます。	防災は非常に重要です。千葉ニュータウンで地盤が強くてもあんまり地震で揺れないんじゃないかって言われます。けれども、実際は揺れる時は揺れるんです。そして何が来るかわからないんです。能登半島の状況を見ても、まさか地震があったってそれが復旧する前に大雨が降って思ってた人はそんなにいないはずなんです。そういうことがこれから日本中で起こるはずなんです。さっきの猛暑の話もそうですけれども、気候変動っていう中でですね。防災についてはもう一回体制も含めて見直したいと思っています。特に市職員700名、かなり大雨が来る、台風が来ると相当徹夜で皆さん各地域に出張していただいて、体制を組んでいるんですけども、700名で11万人はやっぱり守りきれないんですよ、どうしても人数的に。だからどうやって市民の皆さんと一緒に災害に対応できるかっていうことをちゃんと考えていきたいと思うところなんです。	—	防災課
【インフラ・防災】	14	広域避難場所について	武西	けれどもそう言った時に、今千葉ニュータウンの東京電機大学の跡地、私以前しゅちゅう歩いてるんですけど、もう滅茶苦茶なんです。関係者がいるとちょっと申し訳ないんですけども、荒れ放題になっています。だからとてもあそこを公園として、避難できるような状態じゃないと私は感じています。あそこは松山下公園、避難なんかもきちんと整備されているんですけど、避難すればよくはなにかテントか何かでありうるかなと思うんですけど、電機大学のところは、はたから見ると結構いいんですけど、あそこに入るとテントでと考えると物理的に無理じゃないかなと思って、その確認をしたいなというふうになりました。	広域の防災拠点の話もおっしゃるとおりです。東京電機大はみなさんご存じですかね。閉校はしてないんですけども、まだ一部使っているんですけども、主要な学部については北千住の新しいキャンパスに移ってしまっています。グラウンドは草がぼうぼう生えていたりもします。あそこを20ヘクタールは確保するんですけどその中の一部の広場については広域の防災の避難所に指定されているんですけども、そもそも入れないという、鍵が閉まっているんですけどその話を本当にあるんですけど、いざという時に使っていないスペースが多いことはそのとおりで、そういう場所を避難できるのかっていうのはおっしゃるとおりで、これは私、市政運営上、場所自体がやっぱりもったいない、一等地でもありますし、そこは電機大とも議論を始めています。この手前っていうのは、特に経営に関するところなので市長です。リーダーが向こうのリーダーとトップ同士でやるしかないと思っています。まさにそれを始めていますので、まだお伝えできないことはないんですけども、動いているということだけはお伝えさせていただきます。	—	防災課 企画政策課
【インフラ・防災】	13	信号機の設置について	電腹寺	私、地元地区の電腹寺に住んでいるんですけども、本笠支所から県道佐倉印西線に来てぶつかるところに今信号機がなく、交通事故の案件が多いんです。この前死亡事故もあったんですけど、ぜひ県の仕事だと思うんですけど、できれば信号をつけていただければ安全かなと思っておりました。	電腹寺の交差点、これはもういろいろな方から言われています。過去に、電腹寺の交差点はみなさんご存じですかね。一部ですが、その前の通りから、木下や大森に向かっていく通りの途中にあるんですよ。本笠支所から上がってきて見通しが悪いんですよ。県道なんですけど信号がなく、過去に2名ほど私が把握している限りは亡くなっているんですよ。これは県を動かすしかなないので、今担当部とも議論をして、僕たちからどうしたら突き上げられるかっていうのを今やっています。また進捗がありましたら共有させていただきます。	千葉県印旛土木事務所の検討状況を踏まえまして、市道部分の安全性が向上するよう対応してまいります。	市民活動推進課 道路建設課
【インフラ・防災】	14	木下・小林の活性化について 公園のトイレについて	木下・小林	小林に住んでいて、ニュータウンのいろいろなことで木下や小林はないがしろにされてるような気がいたします。本当は今日小林に行きたかったんです。小林の周辺にはなかなかヤードみたいな怪しげな建物がどんどんできて、空き家も増えているのでどうにかしてほしい。また、全般的に公共施設はリフォームされていますが、近隣の公園のトイレは狭くて汚いんです。トイレをきれいにしてください。松山下も滝野も、テニスややっている人などこ回っているんですけど、トイレだけが汚くてにおいが、お掃除されているんですけど、とにかく汚いです。建物ついでにトイレも綺麗にしてください。	公園トイレちょっとこれ持ち帰って確認ですかね。ちょっと体制面含めて確認します。	現在、市内にある都市公園等のトイレは36カ所あり、利用者の比較的多いトイレは週2回、その他は週1回の清掃を委託により実施しています。お話の小林浅間山公園のトイレは週1回、松山下公園（テニスコート脇）のトイレは週2回、滝野公園のトイレは週1回清掃を実施しているところです。なお、老朽化が著しいトイレについては、設置年数、利用頻度、損傷状況などを考慮し、順次更新や改修を進めていきます。	都市整備課
【インフラ・防災】	15	除草作業について	吉高	吉高に住んでいます。場所的には教習所の信号を右に成田の方に向かって坂の下左側の464の脇の道路なんですけど、雑草がすごくてです。5メートル道路が半分になっちゃったんですよ。成田の方に下り切った左側、その脇にも一本道路があるんですよ。自宅はその場所なんですけど、小水路ではないんです。ゴミ捨ても多くて草がいっぱい生えているもんです。家が近いからたまに燃えるものは拾って燃してんですけど、あまりにも酷くて、もう腹が煮えくり返っているんですよ。前はオムツまで捨てた人もいました。情けなくなりました。日県ナンバーも結構多くて、ガード下沿いから道路の下の高架下に土曜日曜など他県ナンバーが結構来て昼寝したり、何やってるのかさっぱりわからないんですけど、それで治安も悪いし、女の人もなんかも辺は歩けないですね。児童保育の通学路にもなっています。その草刈りは、1回この前千葉土木に頼んで2回ぐらいやってもらったんですけど全然ダメ。市役所に言っても千葉県の方へ言ってくれないので、その要望で来たんですけど。	464号線の横の日々清掃にご協力いただきまして本当にありがとうございます。これも持ち帰ってすぐ対応を検討しますので、少し時間をください。ただ、状況は承知しましたので後で確認いたします。	国道464号につきましては、千葉県印旛土木事務所の管理となりますことから、いただいたご意見をお伝えいたしました。市が管理している箇所につきましては、市で草刈りを行ってまいります。	道路建設課 土木管理課
【インフラ・防災】	16	不法投棄について	吉高	不法投棄もすごいですよね。この前はダンブ1台で50〜60枚の畳を1回で捨てた人もいました。	引き続き、現地周辺のパトロールおよび状況に応じて散乱ごみの回収を行ってまいります。また、本年4月には不法投棄防止看板を設置し、5月のゴミゼロ運動においては、市職員による清掃活動を実施いたしました。今後も状況を注視し、適宜対応してまいります。	クリーン推進課	
【インフラ・防災】	17	北総線の運賃について	共通	私1年ほど前に幕張から転入してきましたんですけども、幕張から東京まで40分位、ここから日本橋まで40分ちょっと。ほとんど時間同じなんですけど電車賃は倍なんです。もう高くて東京に行く気がしない。いろんな振興策の話出てますけど、そういうのはすべて結果として、人が増えて電車賃が下がるといって形にぜひ持って行ってほしいなあということ。またそれについての法則についても面白いなと思っています。	「北総線の運賃」につきましては、北総鉄道、京成電鉄と議論を継続しているところです。北総線も赤字になってだいぶ時間経っていますので、どうにかしたいと思っています。黒字かつ過去の赤字も解消していますし、非常に経営としては今は優良ですので、長期的には運賃が下がっていくと考えています。それをなるべく早められるように相手のトップに直談判を継続するというのも一つと、あとは中長期的な視点でいうとやはり利用される方の数を増やさないと考えています。	—	交通政策課
【インフラ・防災】	18	高齢者の移動手段について	共通	—	シニアの方々が定期を返した後に東京に遊びに行く時にお金がかかりすぎるという話は、私の問題意識として承知していますので、今後その対応策としてできることを検討してまいります。	—	高齢者福祉課
【インフラ・防災】	21	交通網について	共通	いろんな理由があると思うんですけど、アクセスという問題から考えると、非常に東京には行きやすい街なんですけど、成田とか佐倉とか、ましてや千葉市千葉の中心部に行く交通手段というのは非常に脆弱で、あったとしても時間がかかり、お金がかかったりということ。そういう理由もあって、県美術協会に参加して県展とかに出展する人が結構に増えたと比べて少ない。印西市には今物流センターとか電算センターができて、経済的に注目されていると思うんですけど、けれども文化を作るっていう意味では非常に脆弱な町だと思っています。その1つの理由がそういう交通アクセスが東京そこには向いているけど、千葉を考えると非常に不便な町だということ。そういう部分を何か方法はありますか考えていただきたいと思います。参加しました。	縦の線はですね。今例えば千葉方面に行くと16号線のバイパス道路をどうするかという話がありますけれども、少し足の長い話ではありますが、私も問題意識を持っており、しっかりと取り組んでいきます。	—	交通政策課

分類	NO.	テーマ	対象地区	参加者の発言	市長の発言	補足など	担当課
【地域】	19	ヤード、太陽光パネルについて	師戸	去年まで奈良に住んでいて、ここでもとと父が畑をやっている、その農園を継ぐということで、農園は来年から開くという意を含めてUターンしてきたんですね。ただ今師戸に住んでいるんですけども、10年前や15年前に比べると随分と自然が変わったなというところ。1つはヤードやソーラーパネルが増えた、市街化調整区域に関してなのにならそういう場所が増えているのですね。これからその印西市ってのはどんどん発展していくのに、そういうヤードとかソーラーパネルができて、ちょっとその自然が少し減っていくところを僕は考えています。そういったところが、どうやって考えられているのかなというのを聞きたくて今回参加させていただきました。	ヤード、太陽光パネルの設置については、対応できることがないか考えているところ。いろいろな方法があると思いますので、基本的にはこの地域の豊かな自然を生かせる方向で検討してお伝えをさせていただきたいと考えております。	—	環境保全課 クリーン推進課
【地域】	20	市民活動について	共通	私は趣味で絵を描いてるんですけど、市長は千葉美術協会っていうのを存じですか、そこに印西市の会員の人がって洋画でいうと何人いると思いますか。3人です。八千代市とか成田市とか佐倉市とかこの周辺ですね。白井市と比べても圧倒的に印西市は少ないんです。	少なくとも市内での振興という観点では、今市民活動支援センターはかなり印西市が他の自治体と比べても進んでいるところではあります。来年からそのスタッフの方も少し増員しますので、こちらの分野ももう少し支援できるように進めていきたいと考えております。	—	生涯学習課 市民活動推進課
【地域】	22	雑誌の付録の活用について	共通	図書館に雑誌が置いてあるんですが、雑誌に付録が付いているんですけど、付録はどうされてるんですかって図書館の方に聞いたら、捨ててますって言われたんですけども、市民の方が抽選で貰えるような取り組みを行っていただけたらありがたいなと思っております。女性誌とか今の時期だったらカレンダーが付録とか付いていたり。捨てるくらいなら税金で購入している物なので市民に還元していただきたいなと。	他市の状況等を調べながら、できることがあればやって行きたいと思っております。	—	生涯学習課
【地域】	23	過疎化について	別所	過疎の問題です。先日2週間ぐらい前ですけど、岩戸地区で車の自損事故があって乗っていたのは外国人の方2人。1人は逃げたんですけど、その時にもう1人の方が電話して周りにこう書いて出るように外国人の方が来られた。別に外国人の方を解析するわけではありませぬけれども、過疎が進むその隙間に外国人の方が来て、で逃げてしまう、きつと何か問題を持っていらっしゃる、非常になんか気持ち悪いなと、いろんな振興策とは別に過疎の対策というのが必要なんじゃないかというふうな思っております。	さっきお伝えしたと繋がってるんですけども、印西は非常にどの地区にも可能性があると思っております。 別所地区をご存じの方でどれぐらいいらっしゃいますかね、別所地区、場所というジョイフルホンダさんの裏側の牧の原のエリアをもう少し奥に行ったらとっていい言い方が良いですかね。800年ぐらい続く獅子舞があったりして、非常に豊かな自然と文化芸術が育まれている地域と感じています。最近若い方がたくさん転入をされています。行政の人間からするとすごい話だと思っております。なぜかという、豊かな自然があつてニュータウンも近いということでもその場所を選ばれたと。私もこの印西のこの豊かな自然がある地区には可能性があると思っております。開発とは違う意味でのこの自然と調和した地域を作っていくということも重要であると考えています。そのために今回市長になったところもあります。これも今いろいろと政策を検討中ですので、次回はもう少し具体的なことをお話しさせていただきます。	—	企画政策課
【地域】	24	まちなか音楽祭について	共通	牧の原で、5月頃に牧の原全体で音楽を広めるみたいな活動をしています。	街なか音楽祭は、非常に印西市の貴重な財産の1つだと思いますので、遊びに行っていたらいいかなと思います。	—	生涯学習課
【地域】	25	子ども会について		あと子ども会を改めて作り始めて、今30名ぐらい集まりました。印西市からはちょっともう外れてしまったんですけど、お楽しみ会とかをその30名ぐらいの子たちと考えると、子供達と一緒にそういうことをやっています。今は印西市から外れて民間ってことなんですかねやっています。前までその印西市と一緒にやっていた補助金とかも出たりして、子供会の印旛郡の方で成田とか佐倉とかのところで印西市と連携が取れてたからその郡の調整とかもできたのかなと思います。	子ども会については確認させていただきます。私も地域の子ども会に育てられた人間ではありますけれども、いろんな楽しみも多様化している中で、お父さんお母さんも忙しい中で、いろんな子ども会がなくなっているという中で今ご尽力されているのは非常にありがたいことだと思いますので、市として調整を含めてできることがないか確認します。	市では、市子ども会育成連絡協議会に対し、支援をしておりますが、現在活動が無いことから、支援を休止しているところがございます。なお、生涯学習課では、社会教育に関する事業を計画的かつ継続的に実施できると見込まれている団体を、社会教育関係団体として認定しております。社会教育関係団体として認定されますと、市内公民館等が減免となりますので、生涯学習課へご相談ください。	生涯学習課
【市役所】	26	マニフェストについて	共通	市役所という区分けがあります。そこで関連します。結果重視、結果を重視した姿勢をお願いできないかというお願いです。これは3、4回はもう言いつばなし、聞きつばなしみたいな経験をしてる者としてお願いしたい。	結果重視はおっしゃるとおりだと思います。今回私がマニフェスト作った一番の理由は何かという、私自身が結果、市民の方への約束をしっかりと文書に残したいということ。当然ながら市の職員もそれを見ています。それ以外の政策も含めて、これは結果重視の市役所しっかりと変えていくことは、リーダーシップを取って私が責任を持ってやっていきます。	—	総務課
【市役所】	27	組織の縦割りについて		市長が描かれたマニフェストの中ではワンストップで解決しますというふうな書いてありますが、ワンストップでなくて結構です。関連各部署の方々の力を統合して結果を出せるような、その姿勢をお願いしたい。それが1点です。課題として具体的にはちょっと時間がありませんから申し上げられませんが、機会がありましたら申し上げたいと思います。いくつか課題を抱えています。	いろんな部署が関わる課題が非常に多く、それゆえにボールが落ちがちなのが行政の特徴、いわゆる、縦割りだと思います。それを打破できるのは組織の上にいる人しかいないと考えています。現在、私と副市長が責任を持って全ての案件を見ています。様々な課題解決に向け、よりスピードを上げていけるよう来年度からは副市長を2人制にしてやっていきたいと思っております。	—	人事課
【市役所】	28	情報発信力について	共通	市長のマニフェストに世界モデルのまち、これが表紙のトップにあります。非常に大切なことだと思っております。1つはですね、魅力ある街づくりを心がけてぜひ発信をして対外的に発信をしていただきたい。これは多分今までの市政の中ではなかなかできなかった、市長のような方で初めて今までのそのキャリアを十分に活かされてですね、対外的なその発信力が発揮できるのではないかと。具体的に申し上げますと1つは印旛沼ですね。これを活用する何かアイデアをですね。ぜひ人とか物とか金を集めて開発利用できるようなできないかというのが1点です。それからもう1つは魅力あるまちづくりとしては、今印西市で非常に全国的にというワールドワイドで注目されているのはやはりデータセンターだと思っておりますが、情報処理に係る産業なり企画を具体化し、それを発信していただいて、印西はその情報処理に係るその町だということ。それが全国あるいは世界に認知されるような方向に持っていただければ大変ありがたいと思っております。それが多分街の元気づくりにも確実に結びつくと思っております。	発信強化については、強化していきたいと思っております。PRが得意なのはやっぱり民間の方々なので、民間の力をしっかりと市役所でも活用させていただくことが、良い市役所を作る上では大事だと思っております。	—	秘書広報課
【市の外】	29	多極・循環型の地域づくりについて	共通	世界レベルのね、モデルの街に将来したいという世界もいろいろ広がってますね。アメリカもあればヨーロッパもあれば東南アジアもあるし、アフリカもあるし中近東もあるしいろいろありますよね。どのよう視点で言われているのか。将来のまちづくりという面では、やっぱり若い人たちの世界的レベルの視点っていうのが必要になってくると教育の視点から。そしてこれセキュリティの問題がありますけれど、観光の視点からそれからいろんな施設の設備、産業の表面からいろんな視点がありますね。どのよう視点から世界レベルというふうにお考えになられてもちょっとそれをお聞きしたいと思っております。	世界モデルって何かって言うと、世界のいろんな地域自治体にモデル・参考にされるような、真似されるようなそんなこの印西市を作っていきたいということなんです。その時の切り目は何かという、私は日本の良さだと思っております、これ語弊が若干あるかもしれないですけど、もう少し印西に寄せてお話をすると、都市と自然との近さと都市と自然との調和に自然と共に生きていくってことだと私は思っています。 同時に、千葉ニュータウンが目指していたものと私は思っています。主要3駅に隣接する形で谷津が配置されるように設計したというのも都市と自然と共に生きていくってことへのメッセージと私は理解をしています。 またこれは、今まさに世界中が目指していることだと思っております。先輩方が作ってくださった千葉ニュータウン、印西市を、しっかりとこの時代に対応する形で極めていけば、世界中が目指す場所になるんじゃないかと思っております。 地域で活動されている方も多くいらっしゃると思いますので、皆さんと議論をしながら、1つ1つの取り組みを進め、世界に真似されるようなまちを作っていければと考えている次第です。	—	企画政策課